

いのちの ささやき

文・写真／宮崎雅子

優しい医療

ほの暗いお産の部屋で 今 産み終えたばかりのお母さんが
赤ちゃんを 愛おしそうに 腕に抱いている
4歳のお姉ちゃんは 少しはにかんでパパの隣りで微笑み
夫の笑顔には 妻へのねぎらいや 安産への安堵がにじんでいる
傍らの ずっと付き添い支えた助産師は 疲れも見せない
赤ちゃんの産声を みんなで迎えられる幸せ
必要以上のことをしない優しい医療を 医師と助産師とで実践している
エナの感想ノートには 希望と喜びの文字があふれていた
新しいいのちが 生まれた今日 北の町で 桜が咲き始めた



みやざき まさこ 写真家。写真集に「Mother」(医学書院), 「NICUのちいさないのち」(メディカ出版), 「胎動」(ショパン), 共著書に「いのちを産む」(学研), DVD「いのちの訪れ」(UTEKIANI)など。出産や赤ちゃんなどのいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。写真展「Mother」を各地で開催中。